

市議団ニュース

連絡先 2014年 9月28日号
杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058
石田利春 52-7260 平間益美 23-9519
【議員団控室（市役所4F）の住所・久喜市下早見85-3】
「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

保育の質も市の責任も後退へ！

こども子育て法成立の影響が久喜市にも

2015年4月から子ども子育て支援新制度が実施されます。これまでの法案では、保育の市場化をめざし、児童福祉法24条の1項である「市町村の保育実施義務」を削除することがねらいでした。しかし、多くの国民・関係者、団体の反対で、保育園についてはこれまで通り市町村の責任義務が残る法制度となりました。

問題は新法の適応になる、新たな園としての、認定子ども園・地域型保育事業です。（0才から3才未満で家庭的保育事業所、小規模保育事業所などに分かれます）

児童福祉法24条2項を適応させました。これは、「必要な保育を確保するための措置を講じる。」という理由で、公的責任をあいまいにさせ、保育が当事者まかせとなる危険性があり、保育の後退です。

また、延長保育や病後児保育、一時預かり保育などは、まだ国から具体的に示されていません。保育料もこれからです。国はあまりにも無責任です。

今回は、新法にかかることろの事業所設置・運営・基準を定める久喜市条例の制定です。



たのしい保育所（記事とは関係ありません）

20時間の研修で保育士に

今回の条例は、家庭的保育事業所など、①保育士が一人もいなくても、市が認める研修等を受け、認められれば良い、②自園調理に外部搬入を認める。③3歳で卒園するあとの連携保育に5年の経過措置をみとめる。④保護者の園選びの調整・あっせんを自治体は当面の間のみ行なう、という内容など、本当にあいまいで安全性にはかなり問題があります。

保育を受ける子どもたちに大きな格差が出るのは事実です。児童福祉法には「すべて児童は、等しくその生活を保障されなければならない」とあります。

重度心身障害者医療費支給に年齢制限の導入案

障害者の福祉後退！すべきではない

埼玉県は、65歳以上になってから重度心身障害者になった方の医療費の補助を、来年1月から打ち切る改定を行いました。これにより、県内自治体は「補助」をどうするのか、苦渋の選択となったわけです。私は、今年6月議会の一般質問で継続するよう提案をしました。その時は「十分検討をする」という答弁でしたが、今回の改定では、年齢制限を加え、来年1月以降、65歳から重度心身障害者になった方は医療費の補助が出なくなります。障害者の医療費を「財政負担増」の理由でやめ、しかも、年齢で区切るなどあり得ないことです。行政は高齢者・障がい者の福祉向上を第一に考えて取り組むべきでないのか。納得できません。 渡辺まさよ

水道会計 平成25年決算

補填財源は45億円へふくらむ

平成25年度の決算が審議されました。純利益は8億1449万円、補填財源となる現金預金は45億5460万円となりました。

消費税が増税され、年金が引き下げられ、物価が上がっています。久喜市民の暮らしは一層厳しいものになっています。財源に余裕が見られる決算状況です。市民の暮らしを支えるために、引き下げるものが求められています。

水道会計、高料金の裏でふくらむ利益！

	平成25年度	平成24年度	前年度比差額
純利益	8億1449万円	7億665万円	1億784万円
現金預金	45億5460万円	41億3674万円	4億1787万円



コスモスの季節

9月議会、党議員、市民目線でがんばりました！

6月議会に引き続き エアコンの早期設置を質問



平間ますみ

- 問 6月議会で答弁の「調査内容の中間報告」について
- 答 室温調査では6月19日最高38度、最低は6月5日16度。7月17日最高39度、7月7日最低19度を記録している。
- 問 一日も早いエアコンの設置に向けて具体的な日程を示してほしい。
- 答 作成中のデータを一掃して整理した段階で執行部・市民部局と調整していく。市長の選挙公約、市民との約束だから早くと考えているが、10億円単位の予算なので慎重に進めていきたい。
- 要望 市長に2255筆の要望書を提出した。1日も早く実現してほしい。

中落堀川・青毛堀川等の除草を

- 問 中落堀川・青毛堀川等の除草が必要と考えるが。
- 答 北陽高校から北小通り大浦橋は年1回、大浦橋から五領橋間は1年おきに東口交番付近から東4丁目向地橋も年1回やっている。
- その他 子どもたちに健康な歯を維持してほしいという思いから、歯肉炎の啓蒙活動に力を入れてほしいと要望しました。

ベネッセの個人情報漏れ と学力テストについて



杉野おさむ

- 問 ベネッセは学力テストの計画から採点までを請け負っている。その企業が今回、2,000万件におよぶ情報漏れをさせた。久喜市も学力テストに参加しているが、情報管理や、安全対策をチェックしたか。
- 答 学習状況調査（学力テスト）は漏えいした情報とは異なるサーバなので、流出はしていないとのこと。情報は安全に管理されていると思われます。
- 問 通常では第三者が情報を持ち出すことは考えられないことだ。そういう企業にお任せしている現状が問題ではないか。全国一律のテスト自体、教育的意味はない。そうした意味では、テストに参加しないことがベストだ。
- 「所在不明児童」への対策を
- 問 各種の健康診断や、児童訪問などで「連絡や接触が図れない児童」が国の調査では久喜市に「3名」存在していることがわかった。早急に対策を講じるべきだ。
- 答 その3名は、外国籍の児童であることが分かった。また、現在、乳幼児全戸訪問などで、接触がとれていない児童が22名いるが、今後の訪問等で減っていくものと考えている。

液状化対策事業の 推進はいかに



石田としはる

- 問 対象地域住民の3分の2の賛成が必要です。アンケートの結果は。
- 答 8月末現在回収率は約84%、対象者全体に対する同意率は約76%です。（液状化対策事業国に申請へ）

水道料金 市民の暮らしに思いをよせ検討すべき

- 問 市民の暮らしは一層厳しいものになっている。市民の暮らしに思いを寄せ、引き下げに向け検討すべき。
- 答 算定期間である3年間が経過したことから、検証するという事。値下げ前提の見直しではない。
- 問 見直しについては、市民参加で実施すべき。水道審議会に市長から水道料金について諮問すると確認してよいか。
- 答 審議会の諮問の関係です。審議会は当然開催しお話をさせていただき形はとっていく。
- 栗橋地区(間鎌)の冠水対策は
- 問 八幡神社付近の小排水路73号は、雨や台風の際に路冠水する対策は。
- 答 小排水路73号は、栗橋町からずっとやられていなかった状況がある。今年度実施する予定となっており、今後も支障となる箇所について実施してまいりたい。

菖蒲老人福祉センター の改善を



渡辺まさよ

- 問 センターに自動販売機を設置すべきでは。週2日の休館日を1日にして多くの方に利用してもらう改善を。また、草だらけのセンターの周りの除草に業者を入れ、送迎のワゴン車の送迎範囲を広げて欲しいが。
- 答 利用者の声を聞きながら自動販売機の設置、休所日は前向きに検討する。除草は計画的に進め、業者委託も視野に入れる。送迎のエリヤ拡大は考えていない。
- 備前前堀川のしゅんせつを
- 問 周辺地域の冠水対策として重要だ。計画的に進んでいるのか。
- 答 24年度から順次行っている。今年度も同様の対策を県に要望している。
- 生活困窮世帯への支援充実を
- 問 県が進めている生活保護世帯の子どもへの連鎖を断ち切る学習支援、アスポートが来年から変わり、自治体の任意事業となる。しっかり進めるべき事業と考えるが。
- 答 久喜市で平成23年度から進めている学習支援は、生活困窮者自立支援法へと移管される。来年度以降も継続を考えている。